

其身不幸少して死す能く盛安公子八景堂捨法也
やと是を大同小達す則八月九日九節を母堂懐ふ
抱き漸成小なり秀吉公北御前止光盛の家督を
預ひて大同御年自備前兼光北御太刀を給ふ
以母堂六宮母少くをうへ横尾張なる女めて大森御
後室なり慶長四年景勝傳及の庄進上二方止所使
小山八藏然則所書を法より田中法藏より者
而法藏は清六の事を清藏よりて家康公参勤
小御前より父清藏所書を度くはたたり今度印
品よりこれ思れ極きを見てより家康公より作なりと
あり十二月十八日角館に着

飛脚至來令祝着以具者極き要細
泊より名を於田中にて也

十一月廿一日

徳川 家康判

戸次九郎公卿及

慶長五年春景勝謀叛よりあり是より依て庄進と
して飛脚を立より不田中清六飛脚円通よりをり